

1 1 教育

	タイトル	意見等
1	一子供たちの生命と心身を守るために一	<p>【義務教育過程負担軽減のお願い】            現在、教育現場では、膨大な量の学習指導要領により、学校関係者・教職員・児童生徒への負担が著しく過重となり、極めて切迫した状況にあります。            5年程前から国へ改善要望を伝えていますが、遅々として対応がなされません。そのため、各都道府県へ提言しております。            もはや国からの無理な要望をそのまま受け入れる必要はなく、企業・団体は独自の判断で対応しています。つきましては、以下の項目等について迅速な軽減対応を要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栽培・農作業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・意義ある学びではあるものの、学校現場の人的・時間的余裕を超えており、持続的な運営が困難です。</li> </ul> </li> <li>2. 技術・家庭科などの技術系科目               <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期間での実技習得は困難です。</li> <li>・木工、裁縫、調理実習などは、教員・生徒双方にとって大きな負担となっています。</li> <li>・用具の準備や購入は保護者にとって負担となっています。</li> </ul> </li> <li>3. 武道など体育課程の一部               <ul style="list-style-type: none"> <li>・習得に年月を要する競技については、希望者が民間の道場等で学べるよう、努めることが可能です。</li> <li>・柔道着などの短期使用は保護者の負担にもなり、SDGs（持続可能性）の観点からも再考が必要です。</li> </ul> </li> <li>4. 教職員と生徒、双方の過剰な負担となっているその他のカリキュラム               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の声を丁寧に拾い上げ、削減可能な内容についての柔軟な見直しが必要です。</li> </ul> </li> </ol> <p>【現在】            ○不登校            ○精神的な不安定さ            ○高校生の自死 など…            子供達にとりまして、学校教育が安心して無理なく学べる場となりますよう、ご対応の程、宜しく願い申し上げます。</p>
2	国立大学法人 徳島大学	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は国立大学法人 徳島大学の「国立大学法人 徳島大学における総合大学化」への推進をしなければならない。又は、国立大学法人 徳島大学を国立大学法人東京大学直轄の「国立大学法人東京大学徳島校」にしなければならない。            ※ 徳島大学の総合科学部の学部改組によつて、法学部(法律学科)、経済学部(経済学科)、文学部(国文学科、英文学科、哲学科・史学科、心理学科、社会学科、新聞学科)を新たに開設する。</p>

1 1 教育

	タイトル	意見等
3	医療人材の育成について(徳島キッズメデイカルランド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は慶應義塾大学医学部医学研究科に「徳島県地域枠」を開設しなければならない。</li> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島大学医学部保健学科を医学部から分離独立させて、徳島大学看護学部又は看護医療学部にしなければならない。</li> <li>※ 徳島県立中央病院の看護総師長の候補となる。</li> <li>※ 千葉大学看護学部の例 慶應義塾大学看護医療学部の例</li> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島文理大学を母体に慶應義塾大学徳島校を開学して、医学部の開設を行う。</li> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島県教育委員会と一体となつて、徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦分校を独立して、徳島県立阿南看護高等学校にする。</li> <li>※ 即戦力としての看護師の人材育成</li> </ul>